

ペルーへ (その2)

主任司祭 中村 満

発行所
カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

ペルー四日目。ナスカの地上絵遊覧飛行へ。手続きを済ませ空港税を払うと、体重測定をされ搭乗の順番待ち。機長と係官を含め六人乗りのセスナ機に搭乗。いざ離陸、一気に飛び立ち上空へ。すぐに地上絵が視界に入ってきた。右座席後方に座っていたが、まずは右旋回、その後、左旋回。シートベルトに縛られているため自分の側からしか眺められない。左右の客に平等に見せるため左右に急旋回を繰り返す。旋回時はさすがに気持ち悪くなった。しかし、上空からの眺望は確かに素晴



らしい。さすがに世界遺産だ。既知の地上絵もあり、満足の約三分のフライトだった。空港を後に、リマに向け出発。高速道路をひた走り、途中小さな町のレストランで昼食。その後も一路リマへ。夕刻着。日秘劇場での記念式典とコンサートに参加。打上げもあり十一時過ぎに宿に到着。疲れた。



ペルー五日目。遅い朝食を済ませリマ空港へ。昼過ぎにリマを発ち、クスコ空港へ。七十五分のフライト。空港で日本語ガイドの迎えを受



け、専用車で途中休憩を挟みながら、約二時間の移動。要塞だったといわれるオリャンタイタンボ遺跡をしばらく見学し、夕刻、ホテル着泊。ペルー六日目。朝食を済ませ、オリャンタイタンボ駅に徒歩移動。列車に乗り、マチュピチュを目指し、終着駅のアグアスカリエンテスまで約一時間半乗車。途中、車窓から眺めるアンデス山脈は迫力があつた。四千〜五千メートル級の山の連なりはすごい。雪を抱く山もあつた。駅着後、遺跡専用バスに乗り替え、約二十分かけてマチュピチュへ。受付のゲートでパスポートを提示し入場。いよいよ世界遺産の遺跡見学の始まり。二日間見学する予定なので、ゆっくり周りましょうとのこと。クスコ空港から同行したペルー人の日本語ガイドの説明を聞きながら、約三時間じっくり見学、プログラム終了。午後一時過ぎに遅い昼食を済ませ、遺跡専用バスで終着駅のあるマチュピチュ村へ。徒歩でホテルへ移動、夕食を取り、就寝。



ペルー七日目。朝食を済ませ、再度マチュピチュ遺跡へ。空中都市マチュピチュの様子が良く理解できるということで、マチュピチュ山の中腹にあるインカ道をひたすら歩き、

尾根にあるインティ・プンクの「太陽の門」を目指す。途中でギブアップしたかったが、休みを数回とって、やっとの

信徒発見一五〇周年記念劇を観劇して

新上五島町の石油備蓄記念会館において上演された信徒発見一五〇周年記念劇「そしてサンタ・マリアがいたーキリシタン復活物語ー」を観劇された、聖家族修道院の眞浦茅乃シスターより感想を「寄稿頂きました。

二月二一日、日曜日、前日の雨は止み、風は冷たいが天気は回復しました。九時一五分上五島での信徒発見一五〇周年記念劇を観るためにジェットフォイルに乗り込みました。最初、行く気はなかったのですが、日にちが近づいてくると望郷の念が高まり、行くことにしました。

奈良尾に着き、青方行きシャトルバスに乗りました。シャトルバスが青方に着くと、もうその劇の雰囲気伝わってきました。普通、帰郷した時、備蓄のホール前は人はあまり見



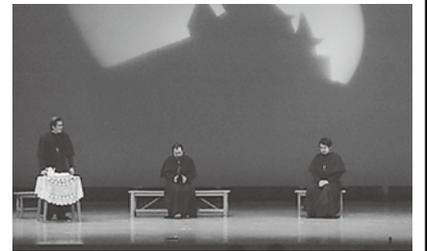
かけないので、人だかりができていて、開場四五分前なのに二列に並んでいました。私たちは早々とお弁当を食べ、その列に加わ

りました。おかげでいい席を確保できました。

演劇の前に、グレゴリアンの聖歌とともに劇に関連するキリシタン小史が紹介されました。幕があがり最初の場面は、踏み絵の場面でした。そして、いろんな場面があり、最後は杉本ユリがプチジャン神父に言った「わたしのむね あなたのむねと同じ」の信徒発見の場面でした。

二五〇年という月日において、信仰を守り受け継いだキリシタンの心の葛藤が良く上演されていました。悩み苦しみながらも「信じよう」「待とう」「神様が見守って下さる」とお互い励まし合いながら、信仰を必死で守り伝えようとしたキリシタン達の姿が心に響きました。苦しみながらも七代守り続ければ、何かいいことがあるとの希望を持って生きていたのだと思います。

信仰を守り伝えるために洗礼は必要だし、信仰を支えるために彼らはよく祈っていました。何度祈りの場面が出てきた事でしょう。毎日が真剣勝負、命がけの生活です。杉本ユリ達も、命をかけての信仰告白だったのです。殉教を覚悟してのプチジャン神父への告白だったのです。「サンタマリアのごぞうはいづこ」サンタマリアの御像



を見た時の彼女の思いは、一言では言えないような気がします。

信徒発見一五〇周年を迎えた今、この劇は私たちに信仰のバト

ンタッチを求めているような気がします。受け取って下さい、伝えて下さい、繋いで下さい、私たちが二五〇年守ってきたこの素晴らしい恵みを渡して下さい。サンタマリアの御保護のもとに。上演の前に上五島信徒代表の議長さんが挨拶をされましたが、議長さんはアヴェマリアの祈りで始めました。九〇〇名以上の観客も一緒に祈りました。それから涙はずっと流れていました。聖霊の息吹が館内に満ち溢れ、人々の心に降ったような気がしました。帰りのフェリーの上的の皆の会話は感動で、饒舌になっていました。

この企画にご協力下さいました皆様に感謝いたします。また、役者さん達にもエールを送りたいと思います。ありがとうございます。皆さんご存じの小島榮神父様、山添克明神父様は、お代官とフェーレ神父様の役でしたが、ぴったりの役でプロ並みでした。最後に神様に感謝です。

神学生を励ます会



三月二七日(日)昼頃より神学生を励ます会が行われた。召命委員会を中心に役員によるバーベキューのもてなしがあった。

参加した神学生は吉原祐則さん。現在高校三年生で、神学校では学生会長をしているとの事。優しく明るい笑顔が印象的な祐則さん。待者の後輩である小学生からも慕われており、祐則さんの周りには子ども達がいっぱいいて遊び相手をしている姿があった。中学三年の時に亡くなった祐則さんの父、貞之さんも笑顔が印象的で周りから慕われる方でした。司祭職を目指して成長を続ける祐則さん。様々な困難や葛藤が待ち受けていると思います。そんな彼に福江教会の信徒全体でエールを贈り、祈りと寄付で彼を含めた神学生や修道志願者たちを支えて行くこうではありませんか！

「いつくしみの特別聖年」 における特別免償について

昨年の十二月八日、教皇様によりバチカン・サンピエトロ大聖堂の「聖なる扉」を開く式を行い「いつくしみの特別聖年」が始まりました。教皇様のご意向により、全世界の司教様が巡礼指定された教会に「いつくしみの扉」が設けられ、昨年十二月十三日に開門されました。福江教会も巡礼指定教会となっており、写真中央の「いつくしみの扉」を通して巡礼することができ、十一月十三日の閉門までの間。

「いつくしみの特別聖年」では特別免償が規定されています。免償とは、ゆるしの秘跡を受けて既にゆるされた罪に伴う、有限の罰（償い）を免除する、という恵みのことをいいます。

（免償を受けるには）
免償を受けるには、「いつくしみの扉」を巡礼し、神のいつくしみについて黙想すると共に、ゆるしの秘跡、ミサに与ることが必要となります。また、信仰宣言を唱え、教皇様の意向のために祈らなければなりません。とされています。

免償は、自分のためだけでなく、亡くなった方のために捧げることもできます。また、ご病気やご高齢のため巡礼が難しい場合は巡礼指定教会でなくてもミサに与るなどしても免償を受けることができます。詳しくはいつくしみの扉横に「免償についての教皇書簡」を掲示していますのでご覧いただくか、神父様にお尋ね下さい。



ミサに与る際はこの中央の扉を開けてお入り下さい。

聖マルティンの家

日本の反対側に位置する国ボリビアで、日本の女性が頑張っています。お名前は野原昭子さん。今回本人が帰国され、これまでの支援のお礼と、更なる支援のお願いのため福江教会に来られました。

野原さんは、国の援助が殆どない中で障害者自立支援施設「聖マルティンの家」を始めました。ボリビアでは障害児は捨てられるケースが多く、身寄りも無く話も出来ない重度の知的障害者のためにこの支援施設は建てられました。



エルピス会のホームページを是非ご覧下さい。アドレス↓
<http://erupisukai.jimdo.com/>

現在は建てられました。現在この施設では、バス停のゴミ箱に捨てられた赤ちゃんや、手術の失敗も多く、盲腸の手術で下半身不随になってしまった人や出産後に半身不随になってしまった人などが一緒に生活しています。この国はとても貧しく、国の援助も無く、障害を持つ人は働く事ができず、物乞いをするしかないのが現状です。少しでも生活の足しにするため畑で野菜を作ったり、自立するために絵を描いたり物を作ったりして小遣いを稼いでいます。

今回、一緒に来ていた交通事故で車いす生活をしている女性は「続けて私たちを助ける事を忘れないでください」と切なる願いを訴えていました。

※NPO法人エルピス会が「聖マルティンの家」を運営している野原昭子さんの活動を支援しています。

カテキスタ紹介



向かって右より1年生担当シスター中野、2年生担当シスター櫻本、3年生担当シスター牧野、4年生担当シスター山下、5年生担当シスター永瀬です。6年生は小島神父様が担当します。

今年度より小学5年生のカテキスタを担当させていただきます。まだまだカテキスタとして知識不足ですが、子どもたちと一緒に勉強していきたいと思っています。どうぞ、よろしく願います。（シスター永瀬）

今年度も、神父様方や信仰教育委員の方々と協力しながら、子どもたちの信仰の成長のためにできる限りの奉仕をさせていただきます。ご協力とご指導のほどよろしくお願致します。

2016 (平成28) 年度カトリック福江小教区評議会活動計画

		28 年	年
月	日	行 事 名	担 当
4月	10日	新旧班長会議	経済問題評議会
4月	17日	小教区定例評議会総会	本部
4月	24日	一杯茶屋	生涯養成委員会
5月		聖母月(ロザリオ参加賞の準備)	信仰教育委員会
5月		「こころ205号」発行	広報委員会
5月	8日	ルルド祭(井持浦小教区)	下五島地区評議会
5月	22日	信徒総会	本部・経済問題評議会
5月	29日	一杯茶屋	生涯養成委員会
6月		初聖体者保護者会	信仰教育委員会
6月		高校生総会	青少年委員会
6月	12日	一杯茶屋	生涯養成委員会
6月	26日	一杯茶屋	生涯養成委員会
7月	10日	小教区定例評議会会議	本部
7月	24日	一杯茶屋	生涯養成委員会
7月	31日	小学生黙想会	下五島地区評議会
8月		教会内外・墓地清掃	本部・経済問題評議会
8月		高校生大会	青少年委員会
8月		「こころ206号」発行	広報委員会
8月	14日	聖母祭・夜市	小教区評議会
8月	28日	一杯茶屋	生涯養成委員会
8月		中学生黙想会	下五島地区評議会
8月		神学生・志願生激励会	召命委員会
9月	11日	小教区定例評議会会議	本部
9月	18日	敬老者祝賀会	本部
9月	22日	ウルトラ50周年記念大会	評議会
9月		聖ミカエル中村神父様霊名お祝い	信仰教育委員会
9月		聖信者保護者会	信仰教育委員会
10月	9日	ロザリオの月(参加賞準備)	生涯養成委員会
10月	23日	一杯茶屋	生涯養成委員会
10月	30日	牢屋の窄殉教祭(浜脇小教区)	下五島地区評議会
10月		「こころ207号」発行	広報委員会
11月	6日	墓地ミサ・清掃	経済問題評議会
11月	13日	小教区定例評議会会議	本部
11月		地区スポーツ大会	

		29 年	28 年	年
月	日	行 事 名	担 当	
11月	11日	初聖体式	生涯養成委員会	
11月	27日	一杯茶屋	小教区評議会	
11月	27日	クリスマス馬小屋、教会周辺イルミネーション飾付	評議会	
12月	4日	聖フランシスコ・ザビエル小島神父様霊名お祝い	生涯養成委員会	
12月	11日	一杯茶屋	広報委員会	
12月		「こころ208号」発行	信仰教育委員会	
12月	24日	小学生クリスマス会	下五島地区評議会	
12月	24日	クリスマス募金	青少年委員会	
12月	24日	クリスマスぜんざいサービス	生涯養成委員会	
12月	25日	一杯茶屋	本部	
1月	8日	小教区定例評議会会議	小教区評議会	
1月	8日	クリスマス馬小屋、教会周辺イルミネーション撤去	本部(下五島地区)	
1月	15日	下五島地区合同堅信式	生涯養成委員会	
1月	29日	一杯茶屋	下五島地区評議会	
1月	31日	司祭団マラソン大会	生涯養成委員会	
2月	12日	一杯茶屋	広報委員会	
2月	12日	「こころ209号」発行	本部	
3月	12日	小教区定例評議会会議	青少年委員会	
3月		高校生「旅立ちのつどい」開催	召命委員会	
3月		神学生・志願生激励会	生涯養成委員会	
3月	27日	一杯茶屋		

※ 各委員会会議の開催については、省略しています。

○生涯養成委員会 ①主任・助任司祭への霊名の祝日に向けての霊的花束作り
 ○信仰教育委員会 ①聖母月、ロザリオの月の参加賞準備(5月、10月)
 ②小学生クリスマス会(12月) ③初聖体・堅信式保護者会

○典礼委員会 ①年間を通しての典礼奉仕(当番表)
 ②毎日のロザリオの意向及び土曜日・日曜日の共同祈願作り
 ③毎日のミサ・聖書と典礼の配布 ④聖書愛読運動
 ⑤聖週間の金曜日十字架の道行き

○広報委員会 ①小教区誌「こころ」発行及び、教区誌「カトリック教報」等の配布準備
 ①小教区出身聖職者へ「こころ」を送付

○召命委員会 ①聖体賛美式での先唱奉仕(毎月初金曜日19時より)
 ②召命者激励の集い(8月、翌年3月)

○青少年委員会 ①クリスマス夜半ミサの後、クッキー・ぜんざいのふるまい
 ②卒業生を対象に「旅立ちのつどい」開催
 ③ハウスオブジョイへの募金とりまとめ(毎月)

○福祉委員会 ①一菜募金の補助(毎月)

— 2015(平成27)年度カトリック福江小教区評議会決算書 —

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部

項目	予算額	決算額	比較	備考
繰越金	478,603	478,603	0	前年度からの繰越金
活動費	1,371,400	1,150,000	-221,400	小教区維持費から
雑収入	0	120,319	120,319	聖母祭夜市売上金 他
預金利息	100	97	-3	普通預金
合計	1,850,103	1,749,019	-101,084	

支出の部

項目	予算額	決算額	比較	備考
会議費	20,000	0	-20,000	評議会会議・役員会・教区評議会研修会参加費等
通信費	5,000	0	-5,000	郵便料・連絡網担当者への電話料支払等
消耗品費	5,000	0	-5,000	文具・資料コピー代等
接待交際費	20,000	0	-20,000	評議会委員の慶弔代費
負担金	240,000	0	-240,000	地区評議会費 (450 世帯)

項目	予算額	決算額	比較	備考
行事費	1,460,003	1,429,616	-30,387	
予備費	100,100	0	-100,100	
合計	1,850,103	1,429,616	-420,487	

内 訳	支 出	繰越金
本部会計	586,488	176,530
生涯養成委員会	17,783	2,500
信仰教育委員会	239,476	25,005
典礼委員会	102,033	7,967
広報委員会	285,419	1,710
召命委員会	93,862	27,007
青少年委員会	42,552	60,479
福祉委員会	12,838	17,367
女性部	49,165	838
小 計	1,429,616	319,403

収入額	1,749,019
支出額	1,429,616
残 額 (翌年度へ繰越金)	319,403

各委員会の担当と主な活動について

○宣教委員会

- ①小共同体に関すること。
- ②教区「宣教委員会」との連携に関すること。

○生涯養成委員会

- ①大人の信仰教育に関すること。
- ②教区「生涯養成委員会」及び「家庭委員会」との連携に関すること。
- ・下五島地区主催の信仰養成講座及び長崎大司教区クルシヨ事務局主催のクルシヨ等への参加を通して大人の信仰教育を推進する。

○信仰教育委員会

- ①小、中学生の信仰教育に関すること。
- ②教区「信仰教育委員会」との連携に関すること。
- ・各種行事を通して小学生や中学生の信仰教育を推進する。(各種保護者会、聖母月、初聖体式、ラジオ体操、ロザリオの月、下五島地区子供の集い、クリスマス会)

○典礼委員会

- ①典礼に関すること。
- ②教区「典礼委員会」との連携に関すること。
- ・ミサや通夜、告別式での祈りの先唱や聖書の朗読等教会の典礼を担当。聖書の朗読を担当する朗読奉仕者や結婚式・葬儀での聖歌奉仕者。

○広報委員会

- ①広報に関すること。
- ②教区「広報委員会」との連携に関すること。
- ・福江教会誌「こころ」の発行に関することや長崎大司教区発行の「カトリック教報」の各班長への配布並びに福江教会のHP(ホームページ)を担当。

○召命委員会

- ①司祭、修道者への召命促進に関すること。
- ②教区「召命委員会」との連携に関すること。
- ・神学生や志願者の激励会や毎月初金曜日に行われている聖体讃美式でのロザリオの先唱及び福江小教区出身の聖職者への「こころ」の送付。

○青少年委員会

- ①高校生会及び青年会活動に関すること。
- ②教区「青少年委員会」との連携に関すること。
- ・高校生会、青年会の活動を援助することにより、若い人の教会活動への参加を推進する。

○福祉委員会

- ①各種募金等に関すること。
- ②教区「福祉委員会」との連携に関すること。
- ・喜びの家、一菜募金及びクリスマス募金等の活動を行う。

カトリック福江小教区評議会評議員	
役職	氏名 備考
会長	中村 満 主任司祭
副会長	小島 明 助任司祭
議長	浦 国昭 地区委員・経済問題評議員
副議長	峯 重昭 主任司祭の委任を受けた者
副議長	岩下政則 典礼委員長
会計	柿山 聡 主任司祭の委任を受けた者
書記	下崎和樹 主任司祭の委任を受けた者
評議員	平川康子 経済問題評議員
評議員	入口正雄 経済問題評議員
評議員	濱端賢一 経済問題評議員・地区委員
評議員	田端妙子 経済問題評議員
評議員	本山孝雄
評議員	水谷久美子 生涯養成委員長
評議員	川中昭子 生涯養成副委員長
評議員	柿山実加 信仰教育委員長
評議員	熊川いせ子 信仰教育副委員長
評議員	川尻昭子 典礼副委員長・地区委員・女性部副部長
評議員	富上清吉 召命委員長・地区委員
評議員	鶴川美恵子 青少年委員長
評議員	赤窄久美子 青少年副委員長
評議員	岩下順子 福祉委員長
評議員	外輪津代子 福祉副委員長
評議員	濱崎直樹 広報委員長
評議員	山下 勇 広報副委員長
評議員	鍋内絹代 女性部部长
評議員	Sr. 牧野たか子 カテキスタ
評議員	Sr. 山下幸子 福江修道院長
評議員	Sr. 真浦茅乃 聖家族修道院長

新旧班長会議

四月一〇日(日)二番ミサ後に、信徒会館にて新旧班長会議が開かれた。役員より班長の主な役割について丁寧な説明があり、その後旧班長さんの慰労を兼ねて食事会となった。原則一年ごとに班長を交代していくが、信徒の高齢化等により昨年に引き続き班長をしている方も見受けられた。

多忙な生活の中で班長の役割を担うのは簡単なことでない。特に、維持費・大司教区費、献金等の集金や広報誌等の配布などは各世帯を廻ることになる。信徒の皆さん、班長さんの負担が少しでも少なくなるように協力をお願いします。また、初めて班長をする方は分からないことがあったり、困ることもあると思います。そんな時は、地区委員や評議会役員に遠慮なく相談して下さい。



地区外	松山								水主町				町地区				番町南				番町北			地区											
	8班	7班	6班	5班	4班	3班	2班	1班	5班	4班	3班	2班	1班	7班	6班	5班	4班	3班	2班	1班	8班	7班	6班	5班	4班	3班	2班	1班	6班	5班	4班	3班	2班	1班	氏名
梅本祐太	橋本進	小原幸雄	濱口政子	桑村清人	吉原美代子	小畑和男	磯辺清子	崎本政市	松本喜代子	赤尾輝幸	浜村枝美子	川端清秀	柿山聡	竹口良一	原塚洋光	浜辺重雄	赤尾弘樹	宿輪清隆	中野邦晴	中山武吉	小畑幸利	岩下政右門	浜辺久雄	山下博美	富上和之	藤屋文代	木場田和喜	山中育子	西津佳克	清川進	水谷誠	小田信之	下崎和樹	15	
11	16	18	14	12	18	15	12	11	13	8	10	11	10	12	14	6	5	14	12	11	11	16	13	14	12	21	16	14	18	13	12	17	15		

《寄付・香典返し》御礼

○橋口 ヤエ子様
 ○坂谷 須美枝様
 故 マリア 中山 レイ子様
 右記の方から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。
 ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

編集後記

三ヶ月ぶりの広報誌「こころ」発行となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。今号では平成二七年度の評議会決算報告を掲載しています。

さて、先月発生した熊本地震では多くの甚大な被害がありました。被災された皆さんが一日も早く、日常の生活を取り戻すことが出来るようにと願います。私たちがカトリック信者は被災した方々のために祈ることが出来ます。寄付やボランティアなどとともに、祈りを捧げることも「なにか出来ること」の一つとして皆で実行していきましょう。そして、各家庭でも「福江でも大災害があるかも」と現実的にイメージし、防災への意識を高めていきましょう。(N.H)